

宮城・山形県境地域の方言の実態

— 七ヶ宿街道沿いの調査から —

武 田 拓・半 沢 康*

Survey of dialects near the border of Miyagi prefecture and Yamagata prefecture along Shichikashuku Road

TAKEDA Taku and HANZAWA Yasushi*

Synopsis

A survey of dialects conducted near the border of Miyagi and Yamagata prefectures along Shichikashuku Road shows that, in general, many dialectal differences in words and usage exist between residents of Miyagi and Yamagata prefectures. In addition, borders of dialectal differences in words and usage and borders of prefectures are not necessarily concurrent, Yamagata dialects are often spoken in Miyagi prefecture, suggesting that both dialects are mutually influential.

Keywords : Miyagi dialects, Yamagata dialects

1. はじめに

宮城・山形県境地域にある宮城県白石市・同刈田郡七ヶ宿町・山形県東置賜郡高畠町で方言の分布と動態を探るために年齢差×地点差のグロットグラム調査をおこなった。

上記の市町は白石市内から同市小原を経て七ヶ宿町に入り、二井宿峠を越えて高畠町に至る国道113号線で結ばれているが、江戸時代は現在の福島県伊達郡桑折町で奥州街道から山中七ヶ宿街道として分岐し、金山峠を越えて現在の山形県上山市で羽州街道に接続していた。明治維新後も現在の JR 東北本線・奥羽本線が開通するまでは交通の要衝であった。

県境はかつての藩境と一致しているが、当該地域は県境を越えて買物・婚姻等の交流が盛んである。以前は白石市から高畠町まで乗り合いバスも運行されていた。このような地理的事情から、方言分布も県境できっちりと境界線が引かれず、複雑な分布状況であることが予想される。なお福島県とも隣接しており、七ヶ宿町稲子地区は明治11～12年にかけて福島県に属していたこともあるが、今回は福島県側は調査していない。

本稿では概ね旧七ヶ宿街道沿いの6地点、各地点4世代を対象とした面接調査をもとに、語彙項目を中心に分布状況を概観する。紙幅の制約上、項目ごとの詳細な検討・分析は別の機会に譲ることとする。

2. 調査対象・方法・項目

2004年10月、12月、2005年7月に現地で1人ずつ面接による聞き取り調査を行った。調査地点は東から順に

- 1 宮城県白石市小原（小原）
- 2 宮城県刈田郡七ヶ宿町関（関）
- 3 宮城県刈田郡七ヶ宿町滑津（滑津）
- 4 宮城県刈田郡七ヶ宿町湯原（湯原）
- 5 山形県 東置賜郡高畠町二井宿（二井宿）
- 6 山形県東置賜郡高畠町高畠（高畠）

である。図1の地図に地点番号で示す。ほぼ5～10キロメートル間隔で位置する。

調査対象者は各地点とも高年層（70歳前後）、中年層（50歳前後）、若年層（30歳前後）、少年層（中・高校生）各1名である。その土地で生まれ育ち、現在もそこで暮らす人を選んだ。調査時の年齢と性別は表1に示す。なお表は縦に上から年齢層の高い順に、横に調査地点を左から順に東に位置する地点から並べている。

場面設定は「普段家族や親しい友人と話すとき」とした。回答は「現在使用語」、「過去使用語（現在は使用しないが過去に使用した）」、「理解語（使用したことはないが聞いたことはある）」に分類した。

調査項目は『七ヶ宿町史 生活編』のほか、『宮城県史 20（民俗Ⅱ）』『山形県方言辞典』などを参考に、語彙・文

* 福島大学人文学類助教授

法・音声・アクセントの項目にわたり、両県で違いがみられそうなものを選んだ。本稿ではそのうちの語彙・文法項目について、地点によって異なる語形が得られたものを中心に報告する。

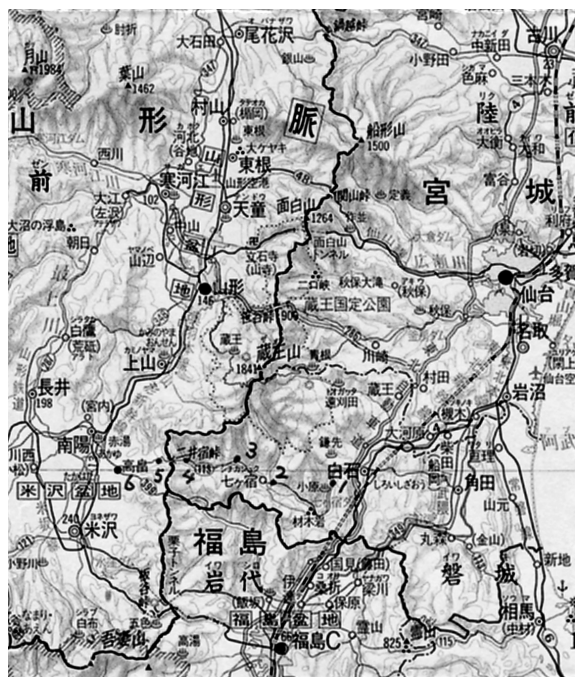


図1

表1 話者年齢性別 ()を付けた話者は女性

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	69	86	(76)	76	75	80
中	51	53	52	51	44	44
若	(36)	36	33	29	36	(25)
少	12	13	(18)	13	13	14

3. 調査結果

紙幅の許す限り、必要に応じてごく簡単な補足説明と解説を付けて表の形で「現在使用語」を示す。空欄は未調査または無回答。概ね以下の4つに分類した。

- ・分布の境界が県境にほぼ一致するもの
- ・分布の境界が山形県側にあるもの
- ・分布の境界が宮城県側にあるもの
- ・その他 混在するもの

3.1 分布の境界が県境にほぼ一致するもの

表2 打撲によるあざ

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	—	○	○—	○	—	—
中	★	★○▲	○	▲○—	★	★
若	○	★○	★	★—	★	—
少	★○—	★	★	—	∞—	—

○クロチ, クロチ, クロツ ★アオタン ▲ブヰル ∞チノカタリ
—アサ

表3 まめずり(枝豆をすりつぶしたもの)

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	○	○	○	○	◎○	◎◆
中	○	○	○	○	○	◆
若	○	○	○	○	◎○	◆
少	○	○	○	○	■	◆

○ズンタ ◎ジンタ ◆ジンタン ■ズンタン

表4 商店に入るときに発することば

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	◇	◇	△	△	■	■
中	◇	▽	◇★	∞	■	■
若	—	—	—	—	■	∞
少	—	—	∞	—	φ	—

◇クタイ, クタイン ▽クナンショ △クンセー △クナサイ
★クラッシャー ■オゴヤイ, オゴヤーイ ∞クダサイ, クダサ付
—コンチワ, コンチワ, ゴメンクダサイ, スミセン φ何も言わない

表5 怠け者

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	○♂	○♀	○♂	☆	★—	▼★
中	○	○	○♂	○♂	▲	∞—
若	∞—	○	○	○	▼	—
少	—	—	○	—	—	—

○タカ, タカモノ —ナマケモノ ♂4ヤミゾー ♀カヘネミ
☆オッチャゲモノ ▲ズグダラ ▼ズグダレ ★カシカリ
∞ゲーカラ, ゲーカラ

表6 ジャージ

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	○	—	—	—	—	—
中	○	○	○	○	—	—
若	—	○	○	—	—	—
少	—	—	—	○	—	—

○ジャス —ジャス以外

表7 目にゴミが入るなどの身体的な違和感

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	—	○	—	○	—	—
中	○	○	○	—	—	—
若	○	—	○	○	—	—
少	—	○	—	—	—	—

○イヰイ —イヰイは使わない

表8 (1)をイカッ, ①をイマルと読むか

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高島
高	—	—	—	—	▲	▲
中	—	—	—	—	▲	▲
若	—	—	—	—	▲	▲
少	—	—	—	—	▲	▲

▲読む —読まない

表9 調子にのってハシャグ

表	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○	○	○	一	♂
中	○	○	○	◎	一	♀
若	○	○	○	○	一	一
少	○	○	○	◎	一	一

○オダツ, オダツ ◎オダズモッコ ♂ウスゲル ♀キマス
一それ以外

表10 遊び「だるまさんがころんだ」の名称

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	∞(★)	∞		★	一	
中	∞	(★)	∞	(★)	☆	∞
若	★∞	∞	∞	∞	∞	∞
少	∞	∞	∞	∞(★)	∞	∞

★クルマノテンカン, クルマノテンカン ☆クルマツコテンソ ∞ダルマサ
ンガコロンダ

遊びの名前でなく、早く数える便法、すなわち「ダルマ
サンガコロンダ」で十数えたことにするという用法で使
用する場合は（ ）で示した。

表11 盗む

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	一	一	一	一	一
中	一	一	一	一	★	一
若	☆	☆	☆	☆	★	一
少	一	一	☆	☆	一	★

☆ジル ★ギル 一ヌムほか

表12 何人かを二組に分けると、一斉になんて言っ
て手を出すか

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	一	一	一		一
中	一	一	一	☆	★	★
若	☆	☆	一	★☆	★☆	★☆
少	☆	★☆	★☆	★☆	★☆	★☆

★ゲーパ類 ☆ウオモ 一聞いたことがない

表13 別れない

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	◎	◎	◎	▼	▲
中	◎	◎	◎	◎	▲	▲
若	◎	◎	◎	◎	▲	○▲
少	◎	∞	∞	∞	▲◎	▲

○ワゴンネ ◎ワレネ, ワレネ ▲ワゴンネ ▼ワゴン
∞ワレナイ

表14 (水などを) 飲みたい

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	∞	∞	∞	∞	∞	▼
中	∞	∞	∞	∞	▲	▲
若	∞	∞	∞	∞	▲	▲∞
少	∞	∞	∞	∞	▲∞	▲

▲ミツエ, ミツエ ▼ミツキ ∞ミタイ, ミテ, ミデ

表15 (小遣いなどを) くれない

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	∞	∞	∞	△▽	△
中	∞	∞	∞	∞	△	△
若	∞	∞	一	∞	△	△
少	∞一	∞	∞	∞一	△一	△

△ケンエ ▼ケン ∞ケネ, ケネ 一クレナイ, クレネ, クレネ

表16 (前もって他人に仕事などを) 頼んでおいた

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	一	○	一	一	一
中	○一	○	一	一	一	一
若	○	○一	○	○一	一	一
少	一	○一	一	一	一	一

○タシタ 一タシタオダ, タシタダ, タシタダ, タシタダ

表17 誰だ

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	☆	☆	☆★	☆	☆
中	★	★	一	★	☆	一
若	一	★	☆	一	☆	一
少	☆★	一	一	一	一	一

☆ダンジャ ★ダシタ 一ダレヤ, ダレダ

表18 ひとりで

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	★	★	★	一	一
中	☆	★	☆	★	一	一
若	★	★	★		一	一
少	★	★	★	一	一	一

☆ヒンジェ ★ヒンデ 一ヒトリデ

3.2 分布の境界が山形県側にあるもの

表19 めんこ

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	☆	○	一◎	◎	○	■
中	☆	◎	○	◎	◇◆	■
若	一	◎一	○一	一	○	一
少	一		一		一	

☆パンパン ○パッタ ◎パツツ ■ハッタン ◆ハッタ
◇パッタン 一メソ

「パッタ」「パツツ」に注目した場合である。「ハッタ」「ハッタン」に注目した場合は境界が県境にほぼ一致するとも言える。

3.3 分布の境界が宮城県側にあるもの

表20 つらら

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	フ	一	▼	▲	▲
中	一	一	一	▼	▲	▲
若	一	一	一	一	一	一
少	一	一	一	一	一	一

フタッパ フボヨダレ ▲ボンダンガラ, ボンダガラ
▼ボンダラ 一ツラ

表21 (ご飯を茶碗に) よそう

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○▲	○▲	▲	▲	▲
中	∞	○▲	○	▲	▲	▲
若	○▲∞	○	▲	▲	▲	▲∞
少	○▲∞	○▲	○∞	○▲§	▲フ	▲

○ワケル, ワケル ▲モル ∞ヨソウ §ヨソル フアゲル

表22 冷たい

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○	◎■一	■	一	○■
中	○	◎	○■	○	◎■	一
若	◎一	○	◎	◎一	一	一
少	一	○一	一	◎	一	一

○シャッコイ ◎ヒヤッコイ, ヒヤッケー ■ツタイ, ツター
一ツメタイ, ツメテ, ツメテ, ツメテ, ツミテ, チミテ, ツベタ

表23 かわいそう

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○	▽	△	▽	△
中	○	△	▽	△	△	△
若	一	○一	○	一	△	一
少	一	一	一	一	△	△

○モゾコイ △モコサイ, モコセ, モコセー ▽モコサイ, モコセ, モコセー
△ムコサイ, ムコセ, ムコセー 一カワイソ

表24 きちんと・几帳面に

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○	○	○	▲■	○■
中	○	○	○	○▲	▲	▲
若	一	○	○	○	▲一	▲
少	○一		○	一	一	一

○マデニ, マデーニ ■ネツグ, ネツグ ▲ネッショ
一キント, キット, テーネニ, キント

表25 女の子

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	◎	■	■	■	■	■
中	∞		■	■∞	■	♀∞
若	∞	■∞	■	∞	∞	∞
少	∞			∞	∞	∞

◎ビデ ■ヘナ, ヘナコ, ヘナッコ ♀オナゴコ, オナゴッコ
∞オナゴ, オナノコ, ジョシ

二井宿の中年層は卑称として使う。

表26 分家

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○一	○一	▲	▲一	▲一
中	○一	○一	○	▲	▲	▲
若	一	○一	一	一	▲	一
少	一		一			

○シタグ, スタグ ▲シカ, スカ 一ブソ

表27 おから(食品)

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	◎	■一	■	■	■	■
中	○	■	一	■	■	■
若	一	■一	一	一	■	一
少	一		一■	一		■

○キラス ◎キシヤス ■トファラ, トフカラ 一オカラ

表28 葬式

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	一	一	■	■	■
中	一	一	一		■	一
若	一	一	一	一	■一	一
少	一	一	一	一	一	一

■ダミ 一ソーシ、ソーシ、オソーシ

表29 ページワン（トランプ遊び）で最後の一枚を出すときのかけ声

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	▲	▲	○◎▲		▲
中	○	○		○	▲	▲
若	○◎	◎	◎	▲	▲	▲
少	◎▲	▲	▲	▲	▲	

○ノサイ ◎ノムサイ ▲アガリ

表30 来ることができない

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	一	一	▲	一	■	■
中	一	一	一	一	▲■	▲■
若	∞一	一	一	∞一	■	
少	∞一	一	～	～	▲一	■

▲コランニ ■コランニエ 一コランニ ∞コレナイ、コレニ
～コレナイ、コランナイ

表31 壊れた

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○	○	○	■	■
中	一	○	■	◎	★	■
若	一	～一	一	◎	■	一
少	○∞	◎∞	■∞	◎一	★	★■

○ホッコレタ、ホッコレタ ◎ホッコッタ、ホッコッタ、ホッコレタ

■ホッコッチャ ★コワッチャ、フッコワッチャ ～コワッタ ∞フッコレタ
一コレタ、コレタ

表32 （我慢などを）しなければならない

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	∈	⇒△	∈	■	■	■
中	△	■	△	■	■◆	◆
若	一	△	△	☆	◆	
少	☆	一	☆	一	◆	■一

△シナグネ、スナグネ、スネグネ ■スナネ ◆サナネ ⇒スナグテナネ
∈シナグネ、スナグネ ☆シキヤナイ、シキヤネ、スナキヤネ
一シキヤナンネ、シクチャナナイ、シクチャナナイ、シケハナナイ

表33 帰れ（命令表現につく文末詞）

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○	○■	■	■	■
中	○	■	○	■	■	■
若	○	○	○	○	■	■
少	○	○■	○■	○	■	■

○カエレリ、カエレー ■カエレハ、カエレハ

表34 帰るのか（疑問表現につく文末詞）

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○	○■	一	■	■
中	○	■	○	■	■	■
若	○	○	○	○	一	一
少	○	○■	○■	○	■	○

○カエンノガワ類 ■カエンノガワ類

一「ワ」も「ハ」もつけない

表35 そうではない

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	△	▽	■	■	■	▽◆∞
中	▽	▽	▽	■	■∞	■
若	一	△∞	∞	∞	■	
少	∞	一	∞	一	一	◆■∞

△ソーデナイ、ソーデネ、ソデネ ▽ホデネ、ホデネ ■ホネ、ホネ
◆ソネ ∞ソデネ、ソデネ 一ソーシヤナイ、ソーシヤネ

3.4 その他 混在するもの

表36 衣服に付く植物の種

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○	○■	■		○	○◆
中	○	○■	■	■	○	○
若	○	○	○	■	○	○∈
少	○	○■	○■	■		○■

○バガ ■トロホー ◆ヌト ∈マルギッパ

関の高年層は形によって、高畠の少年層は大きさによって使い分ける

表37 ひたい（額）

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	■○	■○一	■	▲	■	■
中	■	■	■▲	一■	▲	■
若	∞	■∞	∞	∞	▼	一∞
少	一	∞		∞	∞	一∞

○ナズギ ■デナ ▲デニビ ▼デッピ

∞デコ、デゴ、オデコ 一ヒタイ

二井宿の中年層は特に出っぱったものについて使う。

表38 ものもらい（麦粒腫）

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	○▲	○	○	○	▲	○▲
中	○	○	○	○	ー	ー
若	ー	○	○	○	ー	ー
少	ー		○	ー		ー

○バガ, バカ ▲ボト ーモノモライ

表39 （そんなに安い物だったら）買った（のに）

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	★	☆★	☆	☆	☆★	☆★
中	☆	★	★♂	☆	☆★	☆★
若	★	☆	★	☆	☆	☆★
少	★	☆★	☆		☆★	☆

☆カワッタ ★カッタ △カウダッ

表40 つば（唾）

	小原	関	滑津	湯原	二井宿	高畠
高	ー	○△	▽	○	○	○▽
中	☆	△☆ー	☆	○	○	▽
若	ー	ー	ー	▽ー	▽	ー
少	ー	△ー	△	ー	ー	▽ー

○シタギシタジ, シタギ, スタギ, スタギ △タンハ▽タッハ
☆スタンハ ーツハ

4. ま と め

宮城・山形県境地域の方言の分布状況を大まかにまとめるすれば、今回の調査で地点によって異なる語形が得られたものをみると、その境界は県境よりも宮城側にずれているものが多いと言えよう。つまり、七ヶ宿町は宮城県の他地域にくらべ山形県の方言の影響を受けていることになる。武田拓「宮城・山形県境地域方言の実態―陸羽東線沿線の調査から―」（『仙台電波工業高等専門学校紀要第32号』2002.12）は同じく宮城・山形県境地域のJR陸羽東線沿線での調査報告であるが、同地域では逆に語形の境界が県境よりも山形側にずれているものが多かった。また、年齢層によるちがいについていえば、同地域に比べ、今回の調査地域の方が概して非共通語形の回答が多い。七ヶ宿町についてももう少し細かくみると、同町の3地点も項目によって地点間で異同があり、「七ヶ宿町」としてひ

とまとめにすることはとうていできないことも明らかになった。特に県境に一番近い湯原は今回聞き取り調査をおこなった湯原を含む各地点の話者からも「湯原は他の集落とはちがう」という回答をえた。ことばのみならず食生活の習慣・住民の名字の構成もちがうそうである。

今後は街道沿いだけでなく面的に地点を増やし、宮城・山形、そして福島にまたがる地域全体の中でこの地域の状況をとらえることとしたい。なお、七ヶ宿町には関より東に渡瀬・原・追見の3つの集落があったが、平成3年の七ヶ宿ダム完成で水没してしまった。福島県のことばに近かったという話を同様に今回の各地点の話者から聞いた。今となっては現地調査は不可能で、移住者を捜すしかない。

5. 謝 辞

個人情報保護のためにお名前は記しませんが、話者としてご協力くださった方々、また調査にあたり話者のご紹介、聞き取りの場所をご提供いただきました

宮城県白石市小原公民館
宮城県白石市立小原中学校
宮城県七ヶ宿町教育委員会
宮城県七ヶ宿町立七ヶ宿中学校
山形県高畠町中央公民館
山形県高畠町高畠地区公民館
山形県高畠町二井宿地区公民館
山形県高畠町立高畠第一中学校

のみなさまにこの場を借りて深く感謝・御礼申し上げます。

参考文献

- 七ヶ宿町史編纂委員会『七ヶ宿町史 生活編』
（七ヶ宿町 1982.3）
七ヶ宿町史編纂委員会『七ヶ宿町史 歴史編』
（七ヶ宿町 1984.3）
宮城県史編纂委員会編『宮城県史20（民俗Ⅱ）』
（同刊行会 1960.3）
山形県方言研究会編『山形県方言辞典』
（同刊行会 1970.1）

（平成17年8月22日原稿受理）